

演 題 名	デイケアご利用者におけるレクリエーション活動時間の向上			
施 設 名	介護老人保健施設 しおん	発 表 者	沖津 圭史 (ケアワーカー)	
活 動 の 種 類	質・安全・能率・CS・モラル・コスト	取 り 組 み 種 別	問題解決型 ・ 課題達成型	
改善しようとした問題	デイケアとしての特色を活かす為、レクリエーション活動時間の向上を課題とした。			
改善の指標とその目標値	(指標)活動時間の向上、ご利用者の参加率 (目標値)活動時間40分増加 レクリエーション参加率 70%を目指す。11月、12月以降80%を維持する。			
実施した対策	①レク計画カレンダー(月間)を作成。②ご利用者から希望アンケートを取る。 ③月1回のデイケア会議にて新しいレクリエーションを考える。④職員の役割分担を決める。 ⑤職員のレクリエーションの指導、勉強会を実施。			
改善指標の、対策実施前後の変化	(実施前) 活動時間 平均48分 活動参加率 53% (実施後) 活動時間 平均89分 活動参加率 80%			
参考にしたグループ内の過去事例	施設名: ふれあいクリニック / 演題名: 通所リハビリとしてのレクリエーションの活動量を増やそう			
チ ャ ッ ク の 名 称	輝喜物語(かがやきものがたり)	リーダー名(職種)	小野寺 徳寿 (ケアワーカー)	
		チ ャ ッ ク の 人 数	5 名	
活 動 状 況	平成25年4月～12月		平均会合時間	40 分
	会合回数	10 回	平均会合出席率	100 %

Vision & Work Together!

デイケアご利用者における レクリエーション活動時間の向上 ～輝きの一日を提供するために～

介護老人保健施設しおん
☆輝喜物語☆

発表者: 沖津圭史
小野寺徳寿・佐藤祐一・森本孝則・宮塚亮太

第8回TQM活動発表セミナー



テーマ選定

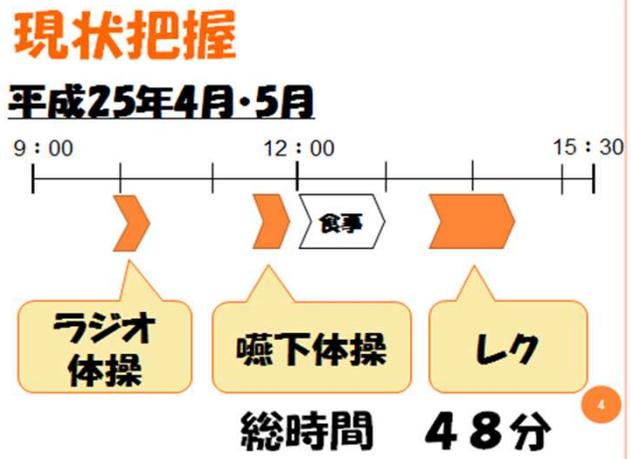
デイケア利用時の活動時間が少ない

↓

デイケアとしての特色を活かしたい

↓

ご利用者に輝ける時間を提供しよう!



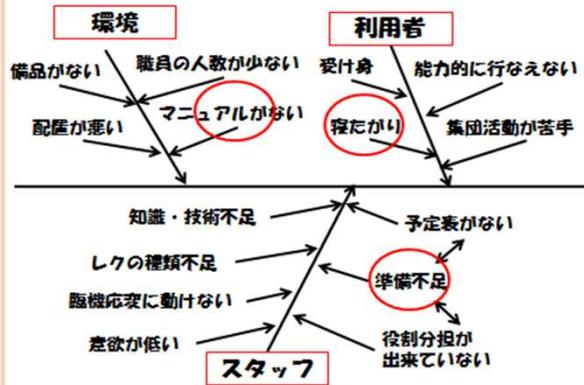
目標設定

現状のレク時間を10月までに
40分増加を目指す

対策の立案

何を	レク活動内容を
なぜ	レク活動時間を増加するために
だれが	レクスタッフが
いつまで	4月末までに
どこで	レクケア会議にて
どうする	考案する

要因分析



活動時間が少ない

対策の実施

平成25年6月・7月



軽体操



棒体操

効果の確認

活動時間は**41分**増加



新たな問題点

レク時間は増加

しかし

参加率53%



追加策立案

新たな目標設定で
参加率70%を目指す

15

レク一覧

- スポーツクラブ
- サッカー大会
- 風船バレー
- 魚釣りゲーム
- ゴルフ大会
- ボウリング大会
- 卓球
- 輪投げリレー
- 新聞フライングディスク
- ジェンガ
- ドッジボール
- 昔遊びゲーム
- 仙台弁かるた
- ちぎり絵
- クリスマス飾り作り
- 紅葉見学
- 料理教室
- 干し柿作り
- 映画鑑賞
- フラダンス鑑賞会
- カラオケ
- Etc...

17



19

(例)

6月のレク参加率

3日	利用者 19名	参加者 11名	57%
4日	利用者 25名	参加者 20名	80%
5日	利用者 17名	参加者 06名	35%
6日	利用者 16名	参加者 12名	75%
7日	利用者 25名	参加者 12名	48%
10日	利用者 18名	参加者 11名	61%
11日	利用者 24名	参加者 19名	79%
12日	利用者 15名	参加者 09名	60%
13日	利用者 19名	参加者 10名	52%
14日	利用者 25名	参加者 12名	48%
17日	利用者 22名	参加者 11名	50%
18日	利用者 25名	参加者 16名	64%
19日	利用者 15名	参加者 06名	40%
20日	利用者 20名	参加者 10名	50%
21日	利用者 21名	参加者 09名	42%
24日	利用者 24名	参加者 10名	41%
25日	利用者 23名	参加者 14名	60%
26日	利用者 16名	参加者 06名	37%
27日	利用者 19名	参加者 11名	57%
28日	利用者 27名	参加者 12名	44%

平均 54%

14

追加策の実施

選択レクの実施

16



18

《有形効果》

- ・コミュニケーションを取る時間が増えた
- ・ご利用者が自主的に準備片づけをするようになった

20

《無形効果》

- ・レクを楽しみにするご利用者が増えた
- ・スタッフが臨機応変に対応できるようになった

21

反省と今後の課題

良かった点

- ・活動時間・参加率の向上を図る事ができた
- ・ニーズに合わせたレクが提供できるようになった

今後の課題

- ・参加率の低下を招かないようにする
- ・継続して新たなレクを発案する

23

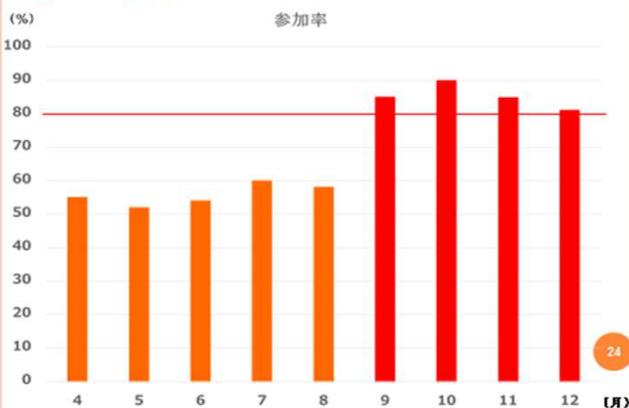


標準化と管理の定着

- ・マニュアルを前日に各自で確認する(毎日)
- ・ご利用者から希望アンケートをとる(月1回)
- ・テイケア会議にてレク計画カレンダー作成、新たな活動の発案(月1回)

22

その後...



24

ご清聴ありがとうございました!



25